

特集 子どもたちはどこへ

日本の子どもの貧困は、世界でも最低レベルといわれます。いじめや引きこもりだけでなく、貧困のために学校に行けない子どもも増えてきました。また、これらは相乗的に絡み合っただけでなく、複雑にもしています。

貧困や閉塞感など、さまざまな社会の実態の中で、子どもたちは翻弄され、孤立し、さまよっているのではないのでしょうか。

今号では、多様な状況をはらみながら居場所を求め、行き場を模索する子どもたちの姿に、目を向けてみたいと思います。

